

『ソク・サバーイ！ カンボジア・サッカー見聞録～牛の向
こうに未来が見える～』 Vol. 2

● J F Aサッカー1級審判インストラクター 唐木田 徹



40～50代のカンボジア対ベトナム友好試合

雨季です。というより雨季らしくなりました。

カンボジアは5月から10月までが雨季なのですが、5月、6月
といっこうに雨季らしい天気とはいえず、“これもやはり異常気象が
原因なのかなあ”とと思っていましたが、7月中旬頃からやっと雨季
を感じさせる天気になってきました。

雨季らしい天気とは、①半日もしくは1日曇り空だったり、②雨

が1時間以上降る、ということです。日本の梅雨のように一日中雨が降り、それが何日も続くということはありません。強い雨は降りますが、まあ1時間半から2時間も降れば「今日はよく降ったね」となります。カンボジアも、ここプノンペンの年間降水量は東京よりも少ないのです。南西部のタイ湾に面した地域とミャンマーに近い地域は、東京の倍以上のようです。ただ文献によると、9月、10月は毎日スコールが降るとありますので、安心するのはまだ早いでしょう。



好天に恵まれ開始した友好試合も、終了時には……

ちなみに、私のオフィスは8月20日から使用できません。水没し

たので……。5日間の出張を終えて、10日ぶりにオフィスへ行く道すがら、付近の景色が激変し明らかに水位が上がっているのに感心していたところ、何のことはない、オフィス自体も水没していました。フィールドの周りがお堀のようになっています。電気系統が壊れたため使用不可能とのこと。いつ修復できるのかは……。誰もわからない、そうです。



オフィスが水没。グラウンド周囲は掘の状態に

雨季の雨といっても、カンボジアの人にとっては毎年のことであり当たり前なのかもしれませんが、雨自体に慣れた生活をしています。オリンピックスタジアム周辺で行われている路上サッカーやバレーボ

ールも、雨天決行です。さすがに、バドミントンなどは屋内に移ってきてやっていますが、ボールゲームはお構いなしです。雨そのものが気にならないのか、スポーツがそれほど好きなのか、理由はわかりません。



雨天決行。バレーボールコートはぐちゃぐちゃ

生活の中に娯楽が少ないので、仕事をする（一応）前の朝早く（5時くらいから）と仕事が終わった夕方は、ウォーキング、ジョギング、エアロビクス、バドミントン、バレーボール、サッカーと、スタジアムや独立記念塔周辺の広場には、多数の市民が集まり体を動かしています。日本のように週末のみというのではなく、これが毎

日の情景です。カンボジア人は健康オタク、とどこかで読んだ記憶がありますが、“なるほど！”と思います。私はまだその仲間入りをしていませんが……。



スタジアム上でエアロビクス。1回の使用料は1000リエル＝約25円

※『ソク・サバーイ』とは、クメール語で「元気です」「元気ですか？」（正式にはソク・サバーイ・テー？）の意。